

東京都公文書館の改築について

公文書館の概要

○主な機能

- ①長期保存文書等の引継ぎ
- ②引継文書等の整理・分類・保存
- ③公文書等の公開・閲覧
- ④史料編さん、普及・広報

○仮移転前の所在地

所在地 港区海岸一丁目13-17
開設 昭和43年10月1日

○仮移転中の所在地

所在地 世田谷区玉川一丁目20-1
開設(仮移転) 平成24年4月1日

[所蔵資料等]

- 公文書
 - 府市公文書 約34,500冊
 - 都公文書 約898,800件
 - 江戸・明治期史料 約8,000冊
 - 地図類 約1,500冊
- 主な編さん刊行物
 - 東京市史稿(M44~)、都史資料集成
- 閲覧者 約2,400人/年
- 公文書の引継ぎ 約11,000件/年 (H26実績)

これまでの経緯

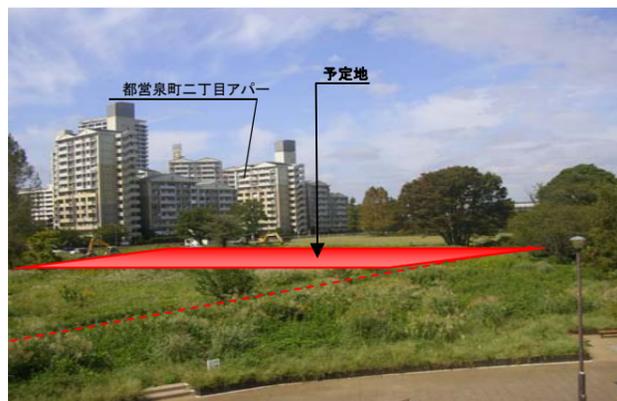
・旧施設の老朽化や狭隘化並びに「都市再生ステップアップ・プロジェクト」の事業実施に伴い、平成24年度から旧都立玉川高等学校(世田谷区)へ仮移転し、業務を継続中。

改築予定地

■建設地

- ・国分寺市泉町二丁目102番9(都有地)
(JR中央線「西国分寺」駅より徒歩5分)
- ・敷地面積 約 6,000㎡
(敷地北側は、都立多摩図書館建設用地)
- ・延床面積 約10,000㎡
- ・書庫面積 約 6,000㎡

仮移転前延床面積 9,185㎡
仮移転前書庫面積 3,545㎡



基本理念

首都東京の公文書館として、住民自治の礎となる行政の説明責任を果たすとともに、歴史的・文化的価値のある公文書等を後世へ継承するため、更なる機能の整備・強化を図ることができる施設とする。

機能整備・強化の取組

■重要公文書等の収集・保存強化

- ・「現代文書調査・収集プロジェクト」の活用により、重要公文書等の引継ぎを強化
- ・保存スペースの拡充やセキュリティ機能等を強化し、最適な保存環境を実現

■ITを活用した情報発信の充実

- ・所蔵資料の電子化による、デジタルアーカイブスの実現
- ・SNSや動画サイト等を活用した利活用サービスの向上

■多様なスペースの提供による利便性の向上

- ・大型資料の閲覧等が可能となる十分なスペースの確保
- ・利用者の目的に応じた機能別のスペースの確保

■行政利用への支援強化

- ・一般利用者から独立したスペースを設ける等、円滑な行政利用を支援
- ・庁内向け目録検索システムから公文書が閲覧できる環境を整備

■史料編さん事業の成果の活用

- ・編さん刊行物のHPアクセスを可能にし、歴史に関する調査研究を支援
- ・都政史年表等のHPでの公開を通して、都民による都政の検証を支援

■緊密なネットワークの構築

- ・隣接する多摩図書館や周辺自治体、類縁機関と連携した展示・セミナーや住民参加型のイベントを展開

スケジュール(予定)

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
事項		基本設計	実施設計	工事	養生期間等	開館予定